

肌の再生医療がわかる本

あなたの肌の本来の力を取り戻し、
肌そのものを健康にする。



肌の再生医療について…………… 2-8

- 肌細胞ってどんな働きをするの? …… 3
- 肌の老化はどうして起こるの? …… 4
- 肌の再生医療ってどんな治療なの? …… 5
- なんで老化現象を改善できるの? …… 6
- どうして老化速度を遅くすることができるの? …… 7
- 他の美容法と肌の再生医療はどこが違うの? …… 8

治療を受けるにあたって …… 9-12

- 治療を受けるにはどうしたらいいの? …… 9
- 細胞保管ってどんなこと? …… 10
- 治療・細胞保管者の体験談 …… 11
- 治療・保管についてのよくあるご質問 …… 12

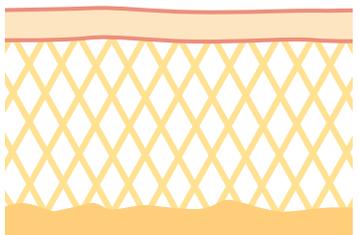
最後にみなさまへ …………… 13

肌の再生医療について

肌の老化の仕組みや肌細胞のこと、
肌の再生医療のことをご説明します。

① 肌の「つくり」について

肌（皮膚）は2層になっています



→ 表皮
→ 真皮

② それぞれの働き～表皮～



表皮 …約0.1mm
外部からの刺激や乾燥から守る！
例えると… 『レンガ』
とても頑丈！
なのでどんな美容液も真皮まで通しません！

③ それぞれの働き～真皮～



真皮 …約2.0mm
表皮と皮下組織を支え肌のハリを保つ！
例えると… 『免震構造』
肌を支える柱を作ったり、補強をしています。
ハリのある若々しい肌は、真皮がしっかりしています！

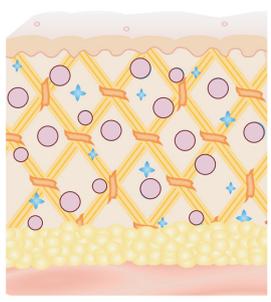
④ 衰えたら…

表皮の老化 → シミ・クスマ・かさつき



柱が弱くなる
シワ
クマ
皮膚が薄くなる
タルミ
支えきれなくなる

真皮の老化 → クマ・シワ・タルミ



肌の再生医療は…

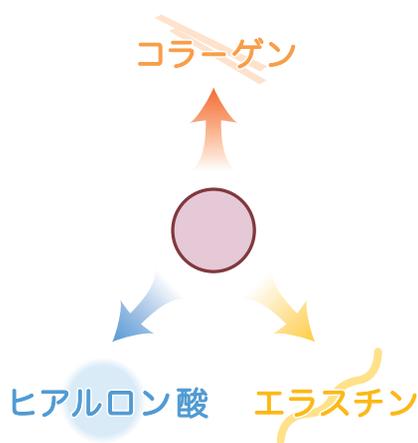
肌の再生医療は、真皮の肌細胞 ● を増やして、
老化の気になる部位に移植し、肌を活性化させる治療法です。

まずは、肌細胞の働きからご説明します。

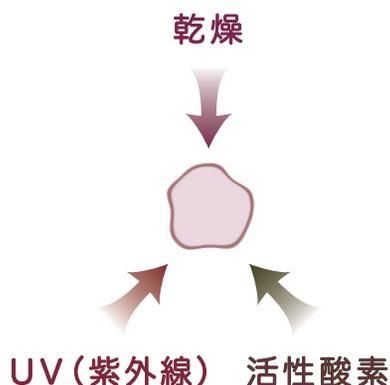
肌細胞ってどんな働きをするの？

肌細胞の働きは、真皮を構成する3大要素である
コラーゲン線維・ヒアルロン酸・エラスチンの
生成とメンテナンスです。

肌に大切な3大要素



肌に大敵な3要素



肌細胞が作る3大要素

コラーゲン線維 **ハリ** **弾力性**

コラーゲン線維は、真皮の**70%～80%**を占める最も重要な要素です。肌**ハリ**や**弾力性**を持たせます。

例えるなら、免震構造の「柱」。ぎゅっと表皮と皮下組織を支えています。

ヒアルロン酸 **保湿**

ヒアルロン酸は、なんとたった**1グラムで500グラムの水分**を抱え込むことが出来る高分子多糖類の1つです。

プルプルとした状態になって、水が簡単に逃げて無くならないようにいつも同じ量の水を含んでいるよう**コントロール**しています。表皮の**潤い**にも影響します。

エラスチン **弾力性** **保湿**

エラスチン線維は、「柱」であるコラーゲン線維をとりまくように存在し肌**柔軟性**と**弾力性**を持たせます。

例えるなら「バネ」。お肌を指で押しても押し返してくれるのは、コラーゲン線維も含め、エラスチンのバネの様な働きのおかげです。

肌に大敵な3要素

保湿と紫外線ケアは必要不可欠！

人の体は、加齢により細胞を保持する力を失っていき、肌細胞は確実に減少していきます。

さらに自然な老化以外にも、**紫外線・乾燥・活性酸素**など日々のストレスによって確実にその数が減少してしまいます。

肌の老化はどうして起こるの？

シワやクマ、タルミ、肌質の変化などの
肌の老化の原因は、
肌細胞の減少・機能低下とされています。



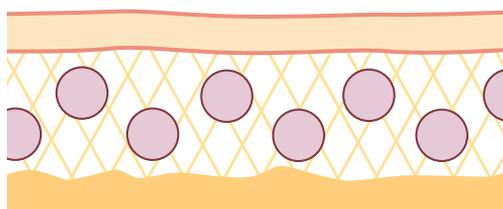
肌の老化を Yシャツで例えると…



厚い生地のところ(襟・袖など)

=若い時の肌

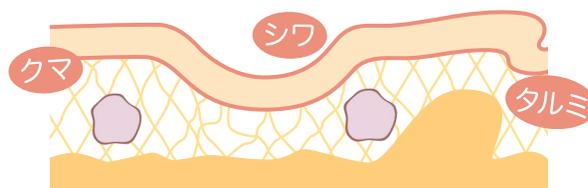
生地が厚いところは、シワになりにくく、
弾力性があり、曲げても元に戻ります。



薄い生地のところ

=年齢を重ねた肌

生地が薄いためシワになりやすかったり、
たるんだりします。



● 肌の老化の原因は、肌細胞の減少・メンテナンス機能の低下 ●

肌細胞はコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸など全てを作り出す工場です。

しかし、肌細胞は、20歳を越えると急激に減少してしまいます。

50歳を越えると、20歳の頃の約半分まで減少し、肌はどんどん老朽化してしまいます。

肌が老朽化すると、表皮と皮下組織をぎゅっと支える力が衰えてきます。

例えば、コラーゲン繊維が切れてしまうと、その部分が折れ曲がりやすくなり、シワができ皮下組織を支えきれず、肌はハリを失い垂れてしまいます。これがタルミです。

真皮層が薄くなっていくことで血管など内側が透けて見えるクマが出来ます。

ヒアルロン酸やエラスチンも生成されないため、真皮層は若い頃に比べ、どんどんもろくなってきます。

肌細胞を増やす治療は、肌の再生医療以外にありません。

顔の肌と比べて、衰えるスピードが遅い(=若い)
耳の裏から皮膚を採取し、培養した細胞を、
肌の老化の気になる部分に移植します。

①老化現象の改善 ②老化速度を遅くする 最新医療です。

※耳の裏の肌は、顔に近い部位の中でも紫外線の影響を受けにくく、顔の肌と比べて、肌年齢が低いとされています。

①老化現象の改善

目の下のクマ ほうれい線

シワ タルミ の改善



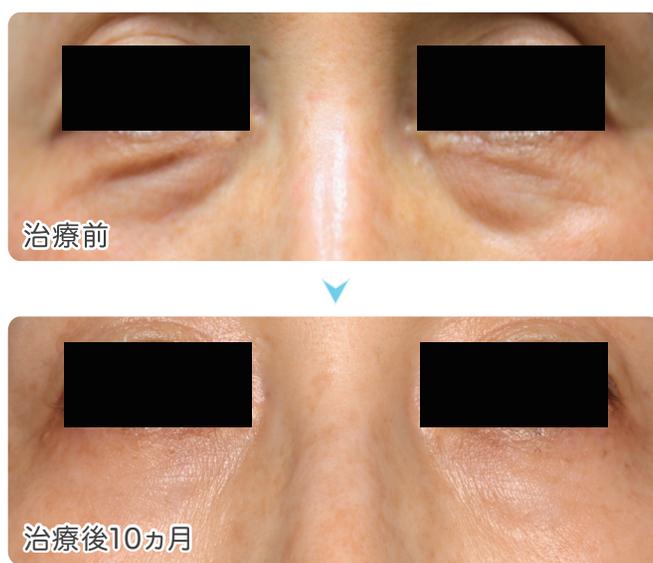
50代女性 ほうれい線の治療から9ヶ月後

➤ 詳しくは、次ページにてご説明いたします。

②老化速度を遅くする

肌の再生医療の
真の目的!

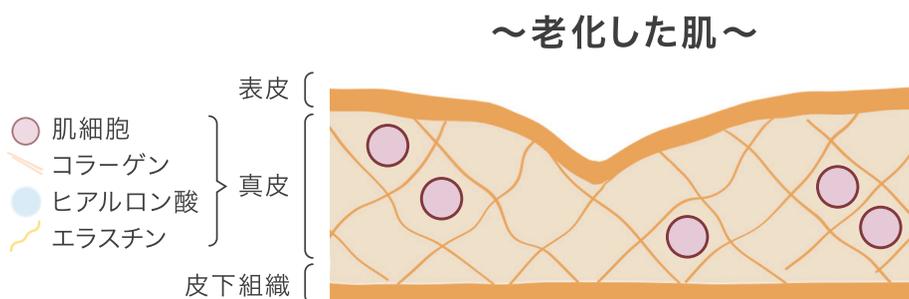
肌質の維持 肌のハリ維持



50代女性 目の下のクマとタルミの治療から10ヶ月後

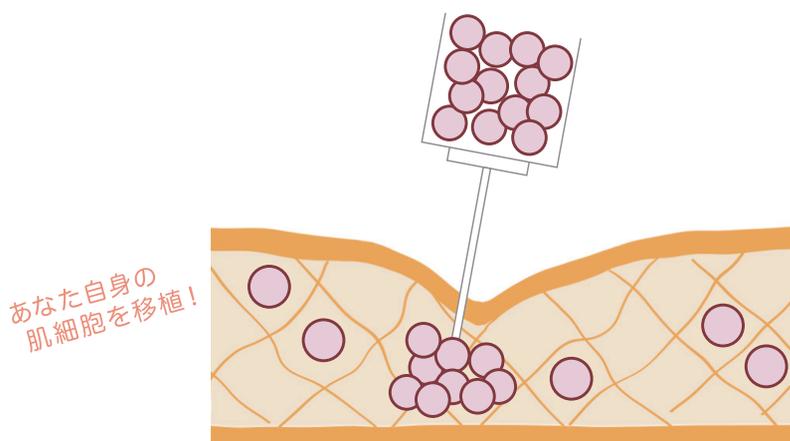
➤ 詳しくは、7ページにてご説明いたします。

大量に移植したあなた自身の元気な肌細胞が、 老化した肌を修復します。



肌細胞の減少・メンテナンス機能の低下により、真皮がもろく、薄い状態。(肌細胞の働きについてはP4 参照)

▶ 肌のシワ・タルミ・
目の下のクマの原因

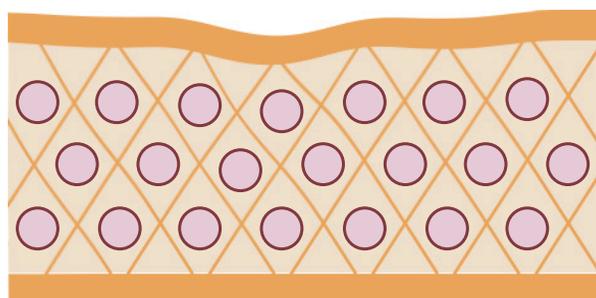


元気な肌細胞を移植。
肌組織を修復。

顔の肌 비해、衰える速度の遅い(若い)耳の裏から皮膚を採取し培養させた、ご自身の肌細胞を移植します。

移植後
3～12カ月...

～老化現象が改善された肌～



肌組織が改善され、
肌機能そのものが若返る。

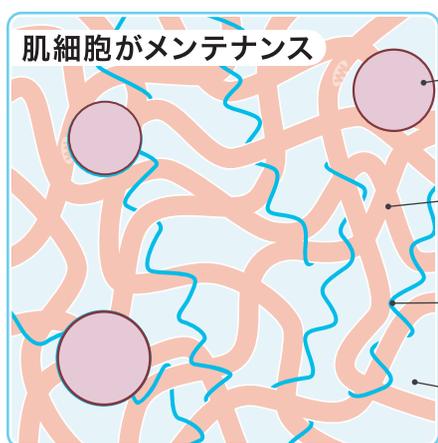
移植された細胞によって作り出されるコラーゲンやヒアルロン酸が少しずつ蓄積し、やがて目に見える形となって肌にハリを取り戻します。

どうして老化速度を遅くすることができるの？

肌の再生医療
について
～その5～

肌細胞を移植し、肌組織そのものが若返るため、改善した肌質の**維持効果も高い治療**です。

この効果に、多くの方がご満足いただいております。



● **肌細胞**
ほころびたコラーゲン線維を治している。他にも、エラスチンやヒアルロン酸を作る。

✂ **コラーゲン線維**
柱のように肌のハリを保つ働き。

〰 **エラスチン**
コラーゲンを支え、肌に弾力を持たせる。

● **ヒアルロン酸**
高い保湿能力で、ギュッと水分を保持。

老化を遅くする効果の持続期間は？

便宜的に2～3年とご案内しております。根本治療ですので、2～3年で効果がなくなるわけではありませんが、老化を予防するためには1年半ごとでメンテナンス（少量細胞）をおすすめしています。

肌細胞の
ターンオーバーは
5～6年！

さらに！

『**細胞保管**』をしていれば、若い肌細胞をいつまでも保管し、いつでも取り出して移植することが可能です。



➤ 詳しくは、10ページ
「細胞の保管ってどんなこと？」にてご説明いたします。

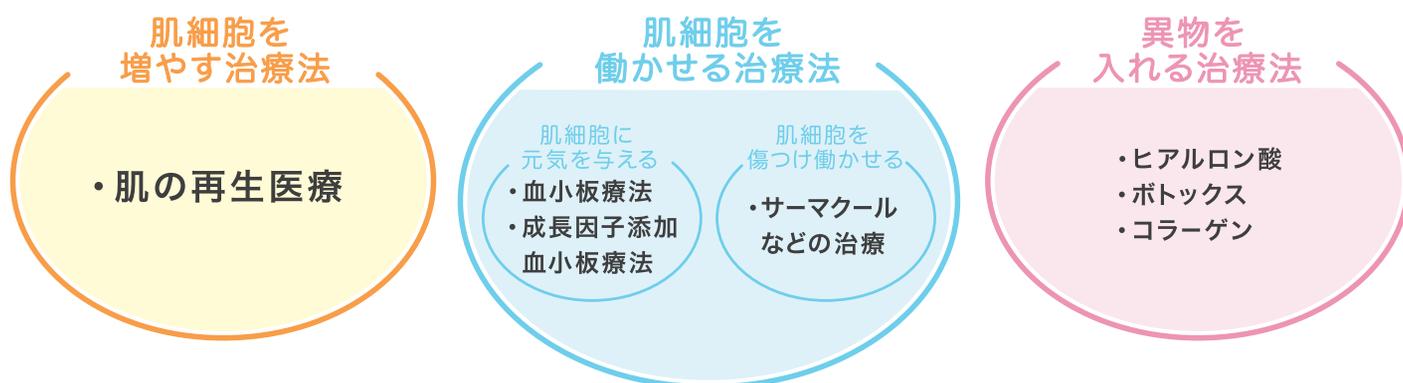
他の美容法と肌の再生医療はどこがちがうの？

肌の再生医療
について
～その6～

メリットとしては、
肌細胞自体が増える効果と高い安全性が言えます。
デメリットとしては、
培養に約1ヵ月かかるため、他の美容法より
治療に時間がかかることが言えます。

療 法	原 料	持続期間	修正・変形作用	副 作 用	効果出現期間
肌の再生医療	自己の真皮線維芽細胞	根本治療	×	なし	1～12ヵ月
ヒアルロン酸	リコンビナント	数ヵ月	○～◎	少ない	即 時
サーマクール	RF(高周波)	約半年	×	少ない	1～3ヵ月
ボトックス	ボツリヌス菌の毒素	数ヵ月	×	通常の薬剤レベル	1～2週間
血小板療法	自己の血小板	数ヵ月	×	なし	2～3ヵ月
成長因子添加血小板療法	・自己の血小板 ・添加成長因子	2～3年	×	ややあり	2～3ヵ月

※成長因子添加の血小板は、肉芽組織が形成され過剰な瘢痕形成が起こる被害が多く報告されています。



治療を受けるにはどうしたらいいの？

治療を受けるにあたって
～その1～

まずは**無料カウンセリング**にてご相談ください。
初回の治療の流れをご説明いたします。

② お悩み・ご希望、何でもご相談ください。



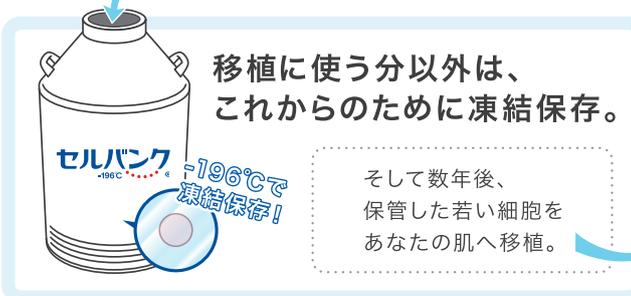
肌の再生医療は、インフォームドコンセントに基づき患者様との信頼関係が構築された上で治療を始めていただきたいと考えております。治療を無理にお勧めすることはありません。

④ 耳の後ろから米粒大の皮膚を採取します。

耳の後ろから皮膚を採取いたします。採取する皮膚の大きさは米粒大ほどの大きさで、傷跡もほとんどわかりません。皮膚採取の当日に髪を洗っていただいても大丈夫です。



10,000倍に培養!!
厚労省から認可を受けた細胞加工施設にて専門の技術者により、採取した皮膚から肌細胞を抽出し、その肌細胞を約10,000倍に増殖させます。



① まずはご予約
(電話・ホームページより)

② 無料カウンセリング

当日OK!

③ 血液検査

1週間後

④ 皮膚採取・細胞培養

5週間後

⑤ 肌細胞移植(2回)

1ヵ月後

3ヵ月後

6ヵ月後...

⑥ 無料検診

1～2年毎

⑦ 定期ケア

③ 血液検査を行います。



検査項目

- 1. TPHA (梅毒)
- 2. HBs 抗原 (B型肝炎)
- 3. HCV 抗体 (C型肝炎)
- 4. HIV 抗体 (エイズ)
- 5. HTLV-1 抗体 (成人T細胞白血病)

⑤ 肌細胞を移植(1回目)。

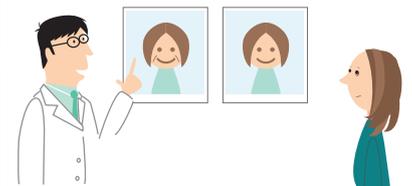
約1～3週間後...

肌細胞を移植(2回目)。

※細胞の定着率が高くなるため、同一部位に2回の移植を基本プランとしております。



⑥ 定期検診で施術後も無料サポート



施術前のお写真と見比べながら、今後のお肌の維持についてなど、その時々のご相談をお受けいたします。

細胞保管ってどんなこと？

治療を受ける
にあたって
～その2～

細胞保管セルバンクは、細胞の銀行です。 若い頃の肌細胞を凍結保存し、将来に備えます。



「今」の若い肌細胞を、半永久的に凍結保存。

あなたの肌から抽出された肌細胞は、 -196°C の液体窒素タンクの中で凍結保存され、若いその時を半永久的に留めます。

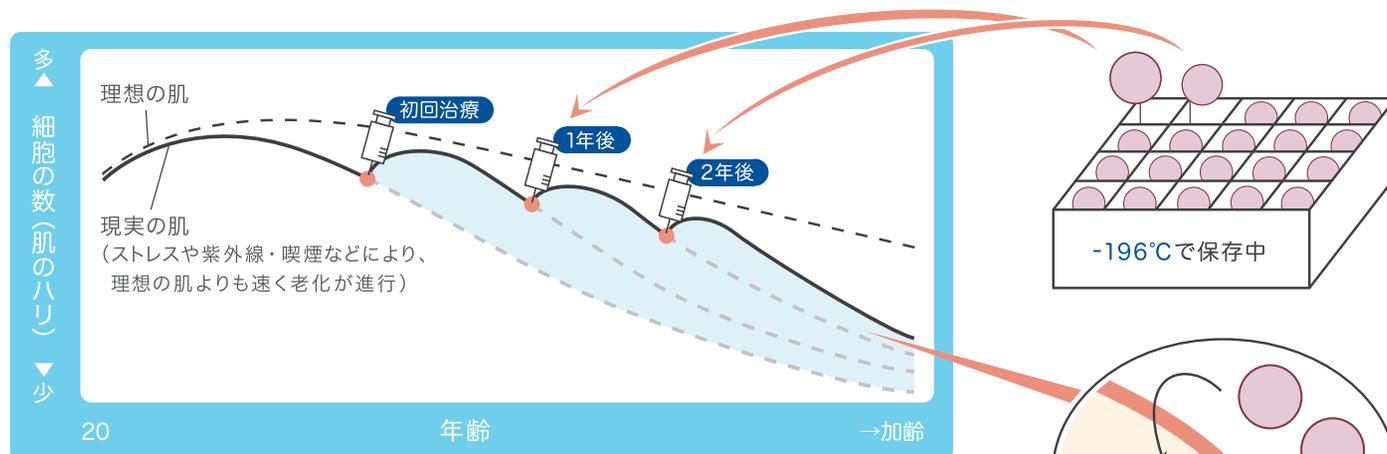
「数年・数十年経っても、年齢を重ねない自分自身の肌細胞が、ずっとあなたの肌を守ってくれる。」

いつの自分も理想の肌でいられるように、あなたの肌細胞を保管します。

「肌の再生医療」で注入した細胞は、あなたの肌に着いた後、お肌の再生の為に働き始めます。

そしてまた、年月とともに注入した細胞も老化を重ねていきます。

働きが弱くなってきた細胞を助けてあげるために、1年～2年に一度、当時保管したままの若く元気な肌細胞を補充することで肌組織が定期的に改善され、お肌は健康な状態を維持することができます。



初回の治療で肌そのものの力を取り戻し、その後は保管した肌細胞を使って定期的にメンテナンスケアをすることで、改善した肌質を維持し、老化速度を遅らせます。(目安は1年～2年に一度)

実際に体験された方の声をご紹介します。

40代
女性

治療から3年
部位：ほうれい線・手

自分のままでいられる、という魅力

治療を受け始めてから3年になりますが、施術開始時より自分の肌が5歳は若返ったように思い、その状態が今もあまり変わらないように感じます。

真皮がしっかりしたことにより、表皮にも影響が出ているみたいで、肌のハリや、保水力も増しているようです。

また、特に年齢が出てしまう手はふっくらして乾燥が気にならなくなりました。

形を変える美容整形とは違い、自分が自分のままでいられる、というのがとても魅力的です。

もうすぐ細胞を保管して3年目

2年前、クマが気になっていたの目の下に細胞を移植しました。

施術から10ヶ月後くらいに周りから改善を指摘されました。

その後も良い状態が続いているので、細胞保管を続けています。

もうすぐ細胞を保管して3年目になるので、今の状態を維持するためにも3年前の細胞をまた移植しようと考えています。

50代
男性

治療から2年
部位：目の下のクマ

60代
女性

治療から1年
部位：目の周り

眼鏡をはずした「跡」の戻りが早くなった

60歳を過ぎてからの治療は、やはり効果に不安がありました。

実際に受けてみると、目に見えて5歳も10歳も若返ったわけではないですが、眼鏡をはずした「跡」の戻りが早くなったことで、皮膚の改善はされているのだな、と実感できました。

私は注射が苦手なので、毎回細胞を移植するときは緊張しますが、スタッフの方も優しく、安心して治療を受けています。

Q

他の美容療法を合わせて行ってはいけないの？

A

他の美容療法と併用して治療を行っても、全く問題ありません。

肌の再生医療で下地（真皮）をしっかり整えた後、別の美容法で表皮の改善を行うことで相乗効果を得ている方もいらっしゃいます。

ただし、美容療法の種類によっては、注入した細胞の定着に問題が生じることがあるため半年ほど期間を開ける必要があることもございます。

詳しくは医師にご相談ください。

Q

自分の子供の細胞の方が若くて元気だと思うので、それを使えますか？

A

安全な治療を行うために、自分自身の細胞以外を使うことはできません。

ご自身のおこさまのものであっても、それは他人の細胞です。

たとえそれが親兄弟であろうと細胞は違う遺伝子でできています。

一定の年齢を越えると、肌の細胞数は下降の一途をたどります。

補充する細胞は、ご本人のものであればいつ保管したものでも問題ありません。

Q

細胞保管はどうやって続けていくの？

A

細胞保管は、株式会社セルバンクに委託しております。

細胞保管に関するご質問、保管料のお支払いなどのお問い合わせは株式会社セルバンク 細胞保管事業窓口までご連絡ください。

細胞保管事業窓口 0120-146-143 (9:00～18:00 ※土・日・祝除く)

最後にみなさまへ・・・

『肌の再生医療』は、老化現象の改善だけでなく
3年後、5年後、10年後も自分らしく美しくいることを目的とした治療です。

肌細胞（真皮線維芽細胞）は、日々確実にその数を減らしていきます。
肌細胞が減り、真皮の働きが衰えてしまうと、自分の力では元に戻すことは
できません。

肌細胞が減ってしまった部位に、自分自身の細胞を補充することで
肌が本来持っていた弾力やハリを再生させる。

それが『**肌の再生医療**』です。

肌の真皮を改善できる有効で安全な治療法が肌の再生医療であり、
多くの方に喜んで頂いています。

ご不明な点やご質問などございましたら、お気軽にご連絡ください。
最後まで資料をご覧いただき、誠にありがとうございました。